

2 学年音楽科

1 使用教材

教科書及び副読本など	
中学生の音楽 2・3 上下 (教育芸術社)	中学生の器楽 (教育芸術社)
合唱曲集「翼をください」 (教育芸術社)	プリント

2 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 学習への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲にふさわしい歌唱表現しようとしている。 ・日本の音楽における特徴や音楽の背景に関心を持つようとしている。 ・楽曲の雰囲気や曲想に関心を持ち、集中して聴こうとしている。 ・和楽器の特徴に関心を持つようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠席、遅刻 ・授業の準備物 ・提出物 ・積極的な授業参加
② 音楽的な感受や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の持っている良さや特徴を感じ取り、表現を工夫している。 ・歌詞の内容や曲想の味わい、その曲にふさわしい発声や言葉の特性、全体との調和を感じ取って、歌唱表現を工夫している。 ・和楽器を含めた楽器の音色や歌唱表現の特徴を感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト
③ 表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな口と大きな声で、恥ずかしがらず歌唱表現する力を身につける。 ・歌詞の内容や曲想の味わい、その曲にふさわしい発声や言葉の特性を生かして歌唱表現する技能を身に付けている。 ・和楽器独特の楽譜を理解し、尺八や箏を体験演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト
④ 鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して鑑賞することができる。 ・それぞれの良さや工夫したところ、できなかつたところを聴き取り、味わうことができる。 ・日本の音楽の特徴を聴き取り、文化や歴史を含めて総合的に聞くことができる。 ・時代背景や文化、作曲者が伝えたかった音楽を理解し、聴き取ることができる。 ・和楽器特有の音色など、直接伝わる生の演奏を通して、演奏を味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞ノート ・テスト ・授業中の鑑賞態度

3 学習計画

	各単元	主な学習内容
2 学年 1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱の導入 ○既習曲の定着 ・Foervere (斉唱) ・僕らの世界 (混声 2) ・君をのせて (混声 2) ・未来へのステップ (混声 3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年で親しんだ曲を、生き生きと歌い、新しい仲間と共に歌う楽しさを感じ、意欲、態度を育てる。 ・教科書の親しみやすい曲を通して、音域の広がり、表現を工夫する。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生の新曲 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢の世界を(混声3) ・ Believe (混声3) ○ 合唱コンクール曲紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各パートの決定 ・ 指揮、伴奏 ・ リーダーの決定 ○ いろんな記号 ○ 鑑賞曲「小フーガ短調」 <ul style="list-style-type: none"> ・ パイプオルガンの響き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲それぞれの持つ特徴を感じ曲にふさわしい歌唱表現を考える。 ・ パイプオルガンの様々な官の違いから生まれる音色に気づくと共にフーガの音楽を楽しむ
2 学 年 2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱の定着 ○ 学年合唱 ○ 舞台発表と鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭 ○ 合唱の発展 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他クラスの合唱曲への挑戦 ○ オーケストラの響き ○ 鑑賞曲「交響曲第5番」 ○ いろんな記号 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとつの曲を掘り下げ、作詩者作曲者が曲に込めたメッセージを表現する。 ・ 共に創るステージを大切に鑑賞マナーを育てる。 ・ オーケストラの楽器の音色や音楽の様々な構成要素を聴き取り、味わって聞く力を育てる
2 学 年 3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱の発展 ○ 日本伝統の楽器に触れる ○ 鑑賞＝尺八曲、箏曲 <ul style="list-style-type: none"> ・ 邦楽演奏会と体験 ○ 他クラスの合唱曲への挑戦 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分らしく(混声3) ・ 時の旅人(混声3) ○ 既習曲の定着 ○ 1年間のまとめ ○ 卒業式 式歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他クラスの合唱を参考に、曲想を考えた表現力を育てる。 ・ 日本の伝統楽器である箏・尺八の音色や楽器の特徴を演奏を通して理解し、演奏体験より日本文化に触れ、愛好する心情を育てる。 ・ 卒業式歌を心を込めて歌い、祝福する心を育てる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、準備物を確実に持ってこよう。 ・ チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ・ 授業に集中し、指示や説明を聞くときはしっかり聞こう。 ・ 仲間とともに歌う喜びを分かち合い、体全体を使って表現をしよう。 ・ 提出物は、期限までに出そう。 ・ 授業での発問などには、積極的に参加して発表しよう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な音楽に興味を持ち、鑑賞や体験をする機会を増やそう。 ・ テスト前には自宅でテスト範囲の学習をし、実技については授業に集中して技術を身につけよう。